

令和3年度における施策  
の成果並びに予算執行の  
実績に関する説明書

(決算附属資料)

## 1 決算の概要

令和3年度一般会計歳入歳出決算については、歳入総額 2,032,350,206 円、歳出総額 2,006,225,697 円で、歳入歳出差引額 26,124,509 円となりました。

令和元年度～令和3年度決算の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比較(R3-R2)	
				増減額	増減率
歳入	2,015,358	2,317,963	2,032,350	△ 285,613	△12.3%
歳出	1,977,100	2,288,104	2,006,226	△ 281,878	△12.3%
歳入歳出差引額	38,258	29,859	26,124	△ 3,735	△12.5%

実質収支は、翌年度へ繰り越すべき財源はないため、歳入歳出差引額と同額となっており、実質収支から前年度実質収支を差し引いた単年度収支は、△3,735 千円となりました。また、前年度繰越額は 29,859 千円で、324 千円を財政調整基金に積立て、19,982 千円を繰り上げ償還しました。

この結果、実質単年度収支は、16,571 千円の黒字となりました。

令和元年度～令和3年度決算収支の状況

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
1 歳入総額	2,015,358	2,317,963	2,032,350
2 歳出総額	1,977,100	2,288,104	2,006,226
3 歳入歳出差引額 (1 - 2)	38,258	29,859	26,124
4 翌年度へ繰り越すべき財源額	0	0	0
5 実質収支額 (3 - 4)	38,258	29,859	26,124
6 単年度収支 (5-前年度分5)	15,263	△ 8,399	△ 3,735
7 財政調整基金積立金	12,600	824	324
8 繰上償還額	0	58,580	19,982
9 財政調整基金取崩額	0	0	0
10 実質単年度収支 (6 + 7 + 8 - 9)	27,863	51,005	16,571

## 2 歳入

収入済額を前年度と比較すると、285,613 千円（△12.3%）の減少となりました。消防施設整備事業に伴う組合債の減少が主な要因となっています。

### 令和元年度～令和3年度歳入の推移

（単位：千円）

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		前年度比較(R3-R2)	
	収入済額	構成比	収入済額	構成比	収入済額	構成比	増減額	増減率
分 担 金 及 び 使 用 料 及 び 手 数 料	1,840,851	91.3%	1,856,703	80.1%	1,865,221	91.8%	8,518	0.5%
国 庫 支 出 金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	-
財 産 収 入	1,605	0.1%	4,276	0.2%	2,429	0.1%	△ 1,847	△43.2%
繰 入 金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	-
繰 越 金	22,995	1.1%	38,258	1.6%	29,859	1.5%	△ 8,399	△22.0%
諸 収 入	20,929	1.0%	13,881	0.6%	13,871	0.7%	△ 10	△0.1%
組 合 債	128,000	6.4%	403,100	17.4%	118,800	5.8%	△ 284,300	△70.5%
寄 附 金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	-
合 計	2,015,358	100%	2,317,963	100%	2,032,350	100%	△ 285,613	△12.3%

### (1) 款別決算状況

#### 1 款 分担金及び負担金

歳入	科目（項・目）	予算現額（千円）	収入済額（千円）	頁
	1. 分担金 1. 事務組合分担金	1,864,023	1,864,023	5, 6

※「頁」は決算書（事項別明細書）のページを示しています。（以下同じ）

※各項目ごとに四捨五入しているため、合計金額が一致しない場合があります。（以下同じ）

前年度と比較すると 8,597 千円増となりました。

均等割 33% 人口割 67% ※淡路広域消防事務組合規約による

洲本市 614,031 千円 (32.94%)

南あわじ市 638,557 千円 (34.26%)

淡路市 611,435 千円 (32.80%)

歳入	科目（項・目）	予算現額（千円）	収入済額（千円）	頁
	2. 負担金 1. 緊急通報センター負担金	1,000	1,000	5, 6
	2. 負担金 2. 移譲事務負担金	198	198	

緊急通報装置は、指令センターで運用管理しており、高齢の独居者を対象とした緊急通報システムで、淡路広域行政事務組合から事務を受託しています。前年度から増減はありません。

移譲事務は、高圧ガス、液化石油ガス及び火薬類の保安に係る事務を構成3市から受託しています。前年度から79千円減となっています。

洲本市 81千円 南あわじ市 40千円 淡路市 77千円

## 2款 使用料及び手数料

歳入	科目（項・目）	予算現額（千円）	収入済額（千円）	頁
	1. 手数料 1. 消防手数料	1,650	2,065	5, 6
	2. 使用料 2. 総務使用料	105	106	

危険物申請手数料、り災証明手数料及び行政財産使用料による収入で、危険物に係る申請件数が増加（114件→119件）したため前年度から425千円増加しました。

## 3款 財産収入

歳入	科目（項・目）	予算現額（千円）	収入済額（千円）	頁
	1. 財産運用収入 1. 利子及び配当金	324	322	7, 8

財政調整基金利子による収入で、前年度から503千円減となりました。

歳入	科目（項・目）	予算現額（千円）	収入済額（千円）	頁
	2. 財産売払収入 1. 物品売払収入	2,000	2,107	7, 8

消防車更新事業に伴い、不要となった消防車等の売払収入で、前年度から1,344千円減となりました。

#### 4款 繰越金

前年度繰越金 29,859 千円、前年度と比較すると、8,399 千円減となりました。

#### 5款 諸収入

歳入	科目(項・目)	予算現額(千円)	収入済額(千円)	頁
	1. 雑入 1. 救急支弁金	10,809	10,809	7,8

神戸淡路鳴門自動車道における救急業務に関する支弁金で、前年度から 363 千円減となりました。

歳入	科目(項・目)	予算現額(千円)	収入済額(千円)	頁
	1. 雑入 2. 雑入	4,408	3,061	7,8

前年度から 352 千円増となりました。

○主な内容と収入済額

職員健康診断助成金	776 千円
保険事務取扱手数料	880 千円
共済保険金	1,363 千円

#### 6款 組合債

歳入	科目(項・目)	予算現額(千円)	収入済額(千円)	頁
	1. 事務組合債 1. 消防債	119,000	118,800	9,10

前年度と比較し 284,300 千円減となりました。

○内訳

洲本・五色ポンプ自動車更新事業	事業費 91,190 千円	起債額 91,100 千円
津名一宮分署外壁改修工事事業	事業費 5,988 千円	起債額 5,300 千円
指令システム機器更新事業	事業費 30,250 千円	起債額 22,400 千円

### 3 歳出

支出済額を前年度と比較すると、281,878 千円減(△12.3%)となりました。由良庁舎建設事業が完了したことが主な要因となっています。

令和元年度～令和3年度歳出の推移

(単位：千円)

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		前年度比較(R3-R2)	
	支出済額	構成比	支出済額	構成比	支出済額	構成比	増減額	増減率
議 会 費	213	0.0%	206	0.0%	204	0.0%	△ 2	△1.0%
総 務 費	79,305	4.0%	1,106	0.0%	610	0.0%	△ 496	△44.8%
消 防 費	1,647,082	83.3%	1,976,538	86.4%	1,686,706	84.1%	△ 289,832	△14.7%
公 債 費	250,500	12.7%	310,254	13.6%	318,706	15.9%	8,452	2.7%
予 備 費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合 計	1,977,100	100%	2,288,104	100%	2,006,226	100%	△ 281,878	△12.3%

(1) 科目別決算状況

**1 款 議会費**

歳	科目(項・目)	予算現額(千円)	支出済額(千円)	頁
出	1. 議会費 1. 議会費	212	204	11, 12

令和3年度において、定例会2回、臨時会2回の計4回を開催しました。

**2 款 総務費**

歳	科目(項・目)	予算現額(千円)	支出済額(千円)	頁
出	1. 総務管理費 1. 一般管理費	195	144	11, 12

一般管理費は、特別職報酬を支出しています。前年度から4千円増となりました。

歳	科目(項・目)	予算現額(千円)	支出済額(千円)	頁
出	1. 総務管理費 2. 財政調整基金費	324	324	11, 12

組合財政の健全な運営に資するため財政調整基金を積み立てました。

歳出	科目（項・目）	予算現額（千円）	支出済額（千円）	頁
	2. 監査委員費 1. 監査委員費	158	142	11, 12

監査委員費は、監査等実施に要する経費として、監査委員の報酬等を支出しております。

- ・令和3年5月17日 現金出納検査
- ・令和3年7月9日 現金出納検査、決算審査
- ・令和3年10月25日 現金出納検査、定期監査

### 3款 消防費

歳出	科目（項・目）	予算現額（千円）	支出済額（千円）	頁
	1. 消防費 1. 常備消防費	1, 584, 330	1, 559, 278	13～18

常備消防費は、消防職員に係る人件費、研修費、旅費、消防車両及び機材の点検整備費用、通信指令システムに係る通信費及び保守管理費用、火災・救急・救助活動に必要な備品等の経費を支出しており、前年度から289千円増となっています。

#### ○主な内容と支出済額

・人件費（給料、職員手当等、共済費）	1, 399, 973 千円
・需用費（消耗品費、燃料費、修繕料、光熱水費等）	64, 968 千円
・役務費（自動車損害保険料、通信費等）	19, 229 千円
・委託料（指令システム保守、機材維持管理等）	21, 799 千円
・使用料及び賃借料（通信回線利用料等）	10, 218 千円
・備品購入費（指令・予防・警防・救急・救助）	4, 798 千円
・負担金（消防学校・救命士養成等研修負担金）	33, 635 千円

## 【警防関係】

令和3年中の火災件数は86件で、前年に比べ1件減少、市別の内訳は、洲本市33件、南あわじ市25件、淡路市28件となっており、火災種別では、その

火災件数	令和元年	令和2年	令和3年
洲本市	36件	24件	33件
南あわじ市	24件	24件	25件
淡路市	33件	39件	28件
計	93件	87件	86件

他の火災が47件で全体の54.7%を占め、次いで建物火災が26件で30.2%となっています。これらの火災により、47棟が焼損、3名が死亡し、3名が負傷しました。

救急発生件数は5,739件で、前年に比べ219件増加、市別の内訳は、洲本市1,903件、南あわじ市1,734件、淡路市2,101件であり、事故種別では、急病が3,411件で全体の

救急件数	令和元年	令和2年	令和3年
洲本市	2,142件	1,830件	1,903件
南あわじ市	2,035件	1,718件	1,734件
淡路市	2,351件	1,971件	2,101件
その他	6件	1件	1件
計	6,534件	5,520件	5,739件

59.4%を占め、次いで一般負傷が957件で16.7%となっています。

救助発生件数は116件で、前年に比べ11件増加、市別の内訳は、洲本市39件、南あわじ市37件、淡路市39件であり、事故種別では、その他の事故が32件で全体の27.6%を占

救助件数	令和元年	令和2年	令和3年
洲本市	54件	37件	39件
南あわじ市	50件	34件	37件
淡路市	42件	34件	39件
その他	1件	0件	1件
計	147件	105件	116件

め、次いで交通事故が30件で25.9%となっています。

その他の災害（救急支援、調査・警戒等を総称してその他の災害としています。）の発

その他出動 件数	令和元年	令和2年	令和3年
	386件	362件	368件

生件数は368件で、前年に比べ6件増加、災害種別では、救急支援が174件で全体の47.3%を占め、次いで調査・警戒が125件で34.0%となっています。

### 【通信関係】

119番受信件数は前年と比べ717件増加し、8,781件となりました。通報種別では、救急が5,413件で全体の61.6%を占め、次いで病院紹介が577件で6.6%のほか、342件の通報訓練を行いました。

119番受信 件数	令和元年	令和2年	令和3年
	9,180件	8,064件	8,781件

### 【予防関係】

火災の発生並びに被害を軽減するには、火災予防が何よりも大切です。

今年度は、住宅火災が発生した地域に対して個別訪問を行い住宅防火を呼びかけたほか、規制業務として不特定多数の人が使用する防火対象物及びガソリンスタンドの立入検査を実施、消防法令違反の是正に重点をおき取り組みました。

また、防火管理者講習会を開催し、防火管理義務対象物において防火管理上必要な業務を適切に遂行してもらえよう、座学に実技訓練を加えた講習会を実施しました。



歳出	科目(項・目)	予算現額(千円)	支出済額(千円)	頁
	1. 消防費 2. 消防施設整備費	127,450	127,428	17~20

消防施設整備費は、庁舎管理に係る工事費、車両整備事業に要した費用を支出しています。前年度と比較すると277,426千円減となっています。

今年度、庁舎関係では、消防整備基本計画に基づき津名一宮分署外壁等改修工事を実施しました。また、車両整備においては、洲本消防署と五色出張所の消防ポンプ自動車を更新しました。

○主な内容と支出済額

洲本消防署・五色出張所消防ポンプ自動車購入費	91,190 千円
津名一宮分署外壁改修工事費	5,988 千円
指令センター機器更新業務委託料	30,250 千円

・消防ポンプ自動車（洲本消防署）



・消防ポンプ自動車（五色出張所）



・津名一宮分署



#### 4款 公債費

歳出	科目(項・目)	予算現額(千円)	支出済額(千円)	頁
	1. 公債費 1. 元金		312,537	312,537
1. 公債費 2. 利子		6,170	6,170	

令和2年度に借り入れた津名救急車、指令機器更新、由良庁舎建設事業の元金償還開始や繰上償還などにより、前年度から8,452千円増となりました。

#### 公債費の状況

借入年度	事業名	借入額	償還金		未償還残高	利率	償還終期 年月日
			当年度償還金	償還金累計			
		円	円	円	円	%	
平成24年度	消防救急デジタル無線実施設計	1,500,000	189,375	1,309,868	190,132	0.40	R5.3.20
平成25年度	新庁舎建設工事	46,200,000	3,287,186	22,535,150	23,664,850	0.70	R11.3.20
平成26年度	衛星通信ネットワーク施設 高機能消防指令センター	190,900,000	27,270,000	163,630,000	27,270,000	0.46	R5.3.31
平成26年度	新庁舎建設工事	9,500,000	673,371	3,990,245	5,509,755	0.50	R12.3.20
平成26年度	消防救急デジタル無線	341,400,000	37,932,000	227,604,000	113,796,000	0.53	R7.3.31
平成26年度	新庁舎建設工事	619,400,000	44,200,000	265,800,000	353,600,000	0.775	R12.3.31
平成27年度	洲本ポンプ車・五色救急車	26,900,000	8,964,000	26,900,000	0	0.10	R4.3.31 繰上
平成27年度	新庁舎建設工事	302,200,000	33,576,000	167,896,000	134,304,000	0.35	R8.3.31
平成28年度	西淡救急車	12,100,000	2,016,000	8,068,000	4,032,000	0.01	R6.3.31
平成28年度	洲本化学自動車	46,500,000	23,250,000	46,500,000	0	0.01	R4.3.31 繰上
平成29年度	洲本救助工作車・岩屋救急車	144,700,000	36,176,809	108,519,574	36,180,426	0.01	R5.3.20
平成30年度	由良救急車	27,700,000	4,616,000	9,236,000	18,464,000	0.01	R8.3.31
平成30年度	西淡ポンプ車・資機材搬送車	47,600,000	7,932,000	15,872,000	31,728,000	0.01	R8.3.31
令和元年度	北淡救急車・北淡ポンプ車	72,000,000	18,000,000	18,000,000	54,000,000	0.19	R7.3.31
令和元年度	指令機器更新・由良庁舎設計	56,000,000	9,334,000	9,334,000	46,666,000	0.16	R9.3.31
令和2年度	洲本梯子車	139,700,000	34,925,000	34,925,000	104,775,000	0.19	R7.3.31
令和2年度	津名救急車	31,900,000	6,380,000	6,380,000	25,520,000	0.189	R8.3.19
令和2年度	指令機器更新業務	18,400,000	2,630,000	2,630,000	15,770,000	0.227	R10.3.17
令和2年度	由良庁舎建設	213,100,000	10,655,000	10,655,000	202,445,000	0.40	R23.3.20
令和3年度	洲本ポンプ車・五色ポンプ車	91,100,000	0	0	91,100,000	0.002	R8.9.20
令和3年度	津名一宮分署外壁等改修工事	5,300,000	530,000	530,000	4,770,000	0.40	R8.9.18
令和3年度	指令機器更新業務	22,400,000	0	0	22,400,000	0.40	R11.3.20
計		2,466,500,000	312,536,741	1,150,314,837	1,316,185,163		

## (2) 性質別決算状況

令和元年度～令和3年度性質別経費の状況

(単位：千円)

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		前年度比較(R3-R2)	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
人件費	1,372,675	69.4%	1,372,892	60.0%	1,377,043	68.6%	4,151	0.3%
物件費	131,474	6.7%	124,919	5.5%	119,966	6.0%	△ 4,953	△4.0%
維持補修費	1,545	0.1%	2,747	0.1%	1,130	0.1%	△ 1,617	△58.9%
補助費等	37,444	1.9%	37,525	1.6%	36,207	1.8%	△ 1,318	△3.5%
扶助費	21,790	1.1%	23,100	1.0%	23,855	1.2%	755	3.3%
公債費	250,500	12.7%	310,254	13.6%	318,706	15.9%	8,452	2.7%
普通建設事業費	149,072	7.5%	415,843	18.2%	128,995	6.4%	△ 286,848	△69.0%
積立金	12,600	0.6%	824	0.0%	324	0.0%	△ 500	△60.7%
合計	1,977,100	100.0%	2,288,104	100.0%	2,006,226	100.0%	△ 281,878	△12.3%

人件費は歳出全体の68.6%を占め1,377,043千円、前年度から4,151千円増となりました。

物件費は119,966千円、前年度と比較して4,953千円減となりました。

維持補修費は各署所庁舎補修に要した費用が少なく前年度より1,617千円減となりました。

補助費等36,207千円のうち、72.2%(26,132千円)が関係市から当組合への派遣職員の人件費負担金となっています。

公債費は、前年度から8,452千円増(2.7%)の318,706千円となっています。

普通建設事業費は、前年度から286,848千円減の128,995千円となっています。大型事業の実施がないため大きく減っています。

積立金は324千円で、前年度と比較して500千円減(△60.7%)となりました。

※令和3年度末財政調整基金高331,030千円

以上